

±0

Humidifier Ver.3

XQK-Q030

加湿器 Ver.3

発売元 プラマイゼロ株式会社

<http://www.plusminuszero.jp>

©PLUS MINUS ZERO CO., LTD. 2006

取扱説明書

06年08月

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ご使用前に、「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。この取扱説明書は、いつでも見るができる場所に必ず保存してください。

安全に正しくお使いいただくために……	1～3	お手入れのしかた ……	11・12
お願い ……	4	クエン酸洗浄のしかた ……	13
設置場所について ……	4	保管するときは ……	14
各部のなまえ ……	5	仕 様 ……	14
ご使用の前に ……	6・7	故障かな？と思ったら ……	15・16
使いかた ……	8・9	アフターサービスについて ……	17
アロマポットの使いかた ……	10	お客様ご相談窓口のご案内 ……	17

取扱説明書・本体には商品の色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の（ ）内の記号が色記号です。

安全に正しくお使いいただくために 必ずお守りください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。
表示と意味は、次のようになっています。

● この表示を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる内容を、2つに区分しています。

- ⚠ 警告：誤った取扱いをしたときに、人が死亡または重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。

⚠ 注意：誤った取扱いをしたときに、人が障害を負ったり物的損害等の重大な結果に結び付く可能性があるもの。

● 本文中の絵表示の意味です。

⊘ は、してはいけない「禁止」の内容です。	⊘ 一般的な禁止	⊘ 分解禁止	⊘ ぬれ手禁止
● は、必ず実行していたく「強制」の内容です。	⊘ 水ぬれ禁止	⊘ 接触禁止	⊘ さし込みプラグを抜く
● は、必ず実行していたく「強制」の内容です。	⚡ 必ず行う		

● 本体表示の意味です。

- △ はご使用上「注意」していただく内容です。

🔥 やけどに注意

⚡ 感電に注意

安全に正しくお使いいただくために 必ずお守りください

警告

電源プラグ・マグネットプラグは、奥まで確実にさし込む

さし込みが不完全ですと、火災・感電・ショートの原因となります。



傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使わないでください。



電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使う

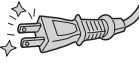
交流200V・船舶などの電源で使用したり、他の器具と併用すると、火災・感電の原因となります。



電源プラグ・マグネットプラグ・プラグ受けは清潔にする



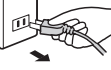
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。



お手入れは電源プラグ・マグネットプラグを抜いてから行う



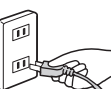
感電の原因となります。



異常時（水漏れ、こげ臭いなど）は運転を停止して電源プラグを抜く

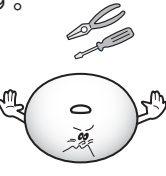


異常のまま運転を続けると火災・感電の原因となります。



修理・分解・改造はしない

火災・感電・けがの原因となります。修理は、±0 生活家電修理・技術センターへ連絡ください。（P17ページ）



コードは乱暴に扱わない

電源コードを傷付けたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、熱器具に近づけたりしない。また、重い物をせたり、挟み込んだりしない。



コードが破損し、火災・感電の原因となります。



高所や不安定な場所では使用しない



転倒すると熱湯がこぼれて、やけどの原因になります。



本体を水につけたり、かけたりしない

開口部から水が入り込み、ショート・感電の恐れがあります。



ぬれた手で電源プラグ・マグネットプラグの抜きさしはしない



感電やけがをすることがあります。



使用中や使用後しばらくは、蒸気吹出口にさわったり顔などを近付けない

やけどをすることがあります。特に乳幼児にはさわらせないように、注意してください。



使用中や使用後しばらくは、持ち運びや、お手入れをしない



やけどの原因になります。

蒸気吹出口や本体の穴部に異物を入れない、ふさがない



感電・やけど・水漏れの原因になります。

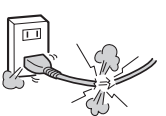


コードやプラグが傷んだときは使わない

コードの一部や電源プラグが熱いとき、コードを動かすと通電したり、しなかったりするとき、コンセントのさし込みがゆるいときは使用しない。



感電・ショート・発火の原因となります。



安全に正しくお使いいただくために

必ずお守りください

警告

お手入に下記の洗浄剤は使用しない

塩素系・酸性タイプ・アルカリ性・ポット用洗浄剤(固形)



有毒ガスが発生し、健康を害したり、故障の原因になります。

マグネットプラグにピンやごみを付着させない



感電・ショート・発火の原因となります。



幼児の手の届く所で使わない

水こぼれに注意

過って本体に力を加えると本体が傾き水や熱湯があふれ、水ぬれややけどの原因になります。

マグネットプラグをなめさせない。

感電・けが・誤飲する原因となります。

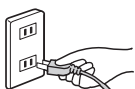


注意

電源プラグを持って抜く



コードを持って抜くとコードが破損して、火災・感電・ショートの原因になります。



使わない時は、電源プラグ・マグネットプラグを抜いて排水する



絶縁劣化して火災・感電・水濡れの原因となります。



フード・クリーニングフィルターをはずしたまま使用しない



蒸気が吹出口以外から漏れ出す場合があります。

ハンドルをもって振り回さない



落とすとけがの原因になります。



何度もタンクを上下に動かさない



水や熱湯があふれ、水漏れ・やけどの原因になります。



タンクをセットしたまま本体を持ち運ばない



傾けると熱湯があふれ、やけどの原因になります。

アロマオイルは、付属の容器以外には入れない



本体に入ると熱湯があふれ、やけど・感電の原因になります。

アロマポットを幼児の手の届く所に置かない



誤飲の原因になります。

排水するときは、必ずフードを取り排水方向に排水する



排水方向を誤ると、本体開口部より水が入りこんで火災・感電の原因になります。



暖房機・テレビなどの電化製品や、熱に弱いテーブルなどの上で使用しない



転倒すると漏れた水によって、感電・ショートの原因になります。また、本体底面の熱によりテーブルの変形・変色の原因になります。



落としたタンク・本体を使用しない



そのまま使うと破損箇所から水漏れして、ショート・感電・発火の原因になります。



タンクにアロマオイルや40℃以上のお湯・不純物の多い水を入れて使用しない



変形や故障の原因になります。また、熱湯があふれ、やけど・感電の原因になります。

お願い

製品の破損・劣化・誤作動を防止するために必ずお守りください

●タンクセット時や運転中に本体を傾けない。

本体とタンクのすきまから熱湯や水が漏れることがあります。

●タンクや本体の結露は、タンクをセットする前にふき取る。

結露とは、タンク内面などについた水蒸気が温度や湿度の変化などにより冷えて、水滴になる現象です。結露がおこった場合は、ふいてください。また、床面に落ちた水滴もふいてください。そのまま乾くとぬれた場所が変色する場合があります。

●蒸気吹出口をふさがない。

カーテンやタオルなどで蒸気吹出口をふさぐと、変形や故障の原因になります。

●加湿しすぎない。

室内の結露や、カビが生える原因となります。

●こまめにお手入れをする。

加熱皿に水アカが付着したまま使用を続けると、加湿量の低下や、故障の原因になります。

●凍結に注意する。

凍結の恐れがあるときは、タンクと本体の水を捨ててください。凍結したまま使用すると、故障の原因になります。

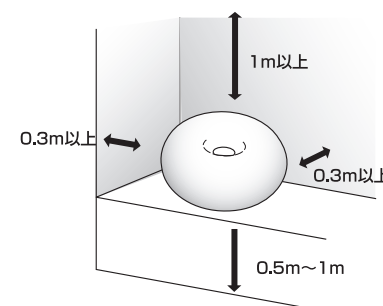
●水道水(飲用)以外は使わない。

化学薬品・芳香剤・香料・アロマオイル・汚れた水・海水・ミネラルウォーター・アルカリイオン水・マイナスイオン水などを使用すると、本体内部に付着する水アカが多くなったり故障の原因になります。

設置場所について

●必ず安定した水平な場所に置いてください。

●図の様に周囲との距離を十分にとってください。



こんな場所に設置しない

●直接日光のあたる場所、温風があたる場所、暖房機・テレビなどの家電製品や熱に弱いテーブルなどの上。

タンク内の空気が膨張し、お湯があふれることがあります。転倒すると漏れた水によって、感電・ショートの原因になります。また、本体底面の熱によりテーブルの変形・変色の原因になります。

●蒸気が家具・壁・カーテン・天井などに直接あたるところ。

家具・壁・カーテン・天井がいたんだり、しみや変形の原因になります。

●床や畳の上。

つまづいてけがや、やけどの原因になります。また、本体底面の熱により床材や畳が変色することがあります。

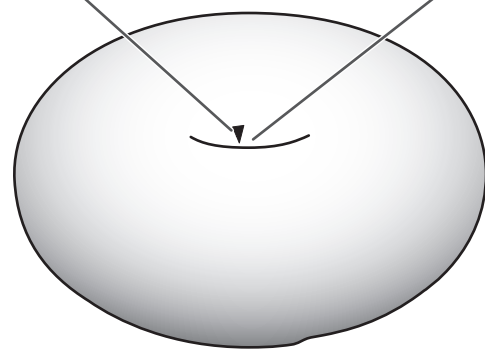
●カーペットやじゅうたん、ふとんなど柔らかいものの上。

底面がふさがれると、内部温度が上昇して水があふれたり、安全装置がはたらくことがあります。また、転倒OFFスイッチがはたらき、運転しないことがあります。

各部のなまえ

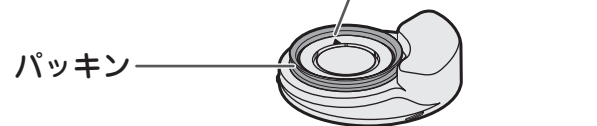
タンク

タンクセット印▼ 蒸気吹出口



フード

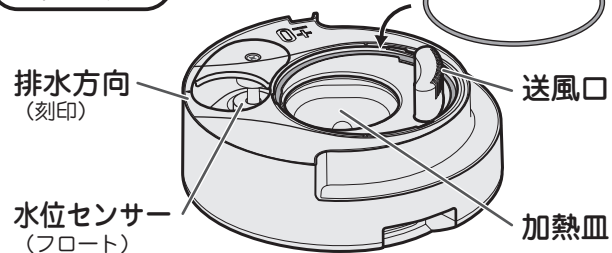
タンクセット印▲



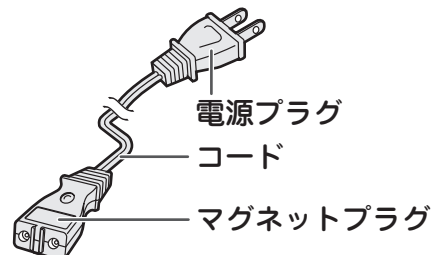
クリーニング
フィルター
*2枚セットでご使用
ください。

リングパッキン
*本体に取り付けた状態
でご使用ください。

本体



コードセット

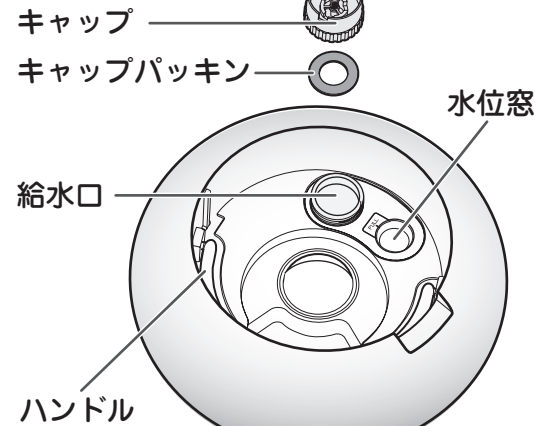


タンク内面

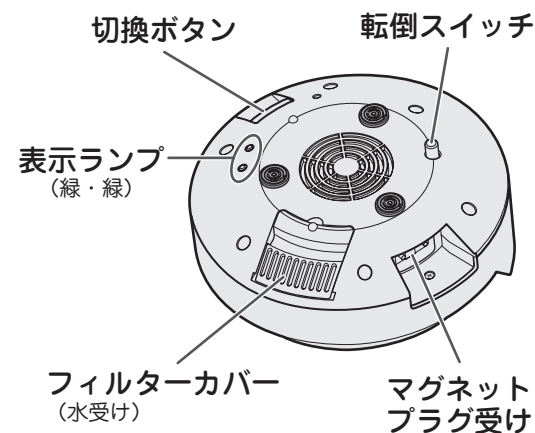
キャップ内面

キャップ内面にキャップ
パッキンが
あるか確認
してください。

キャップパッキン



本体底面



付属品

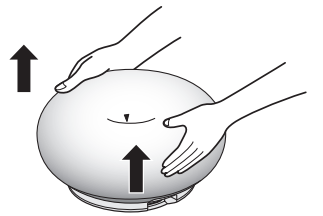


ご使用の前に (タンクに水を入れる)

次ページにつづく ➡

1 タンクを取りはずす

- タンクは両手で持ってください。
- タンク内面のキャップに付着した水が落ちることがありますので、ゆっくり真上に持ち上げてください。



2 タンクを裏返し、水平な台の上に置く

*タンク内面に持ち運びに便利なハンドルがついています。

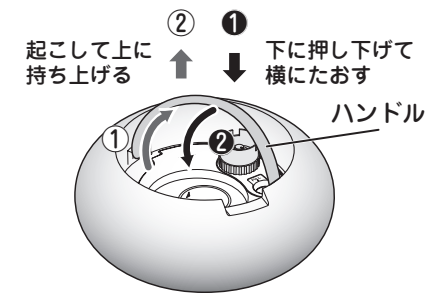
★ハンドルのセットのしかた

- ① ハンドルを起こします。
- ② ハンドルを上を持ち上げます。

★ハンドルのしまいかた

- ① ハンドルを下に押し下げます。
- ② ハンドルを横にたおします。

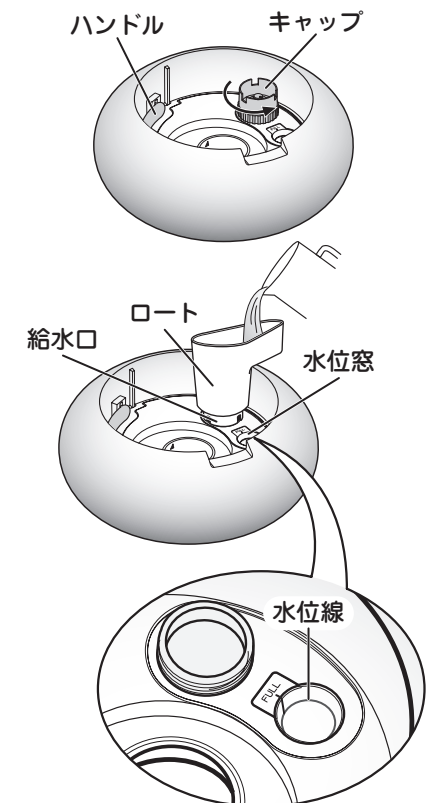
※ハンドルを起こして持ち上げた状態で無理に横にたおさないでください。ツメが折れる場合があります。



3 タンクに水を入れる

- ① キャップをはずします。
• 矢印の方向へまわしてください。(反時計回り)
※ハンドルをたおした状態にしてください。
- ② 付属のロートを給水口にさし込みます。
- ③ 水を入れます。
水位窓の水位線以上に水を入れないでください。
• 給水はタンクを水平に保ちながら、少しずつ入れてください。
- ④ キャップをしっかり締めます。
• 本体へセットする前に、タンクについた水分をよくふき取ってください。

芳香剤やお湯(40℃以上)、不純物の多い水などを入れないでください。
本体には直接水を入れないでください。
必ずタンクに水を入れた状態で使用してください。



ご使用の前に (本体にセットする)

4 加熱皿にフードをセットする。

※お買上げ時は、本体にセットしてあります。

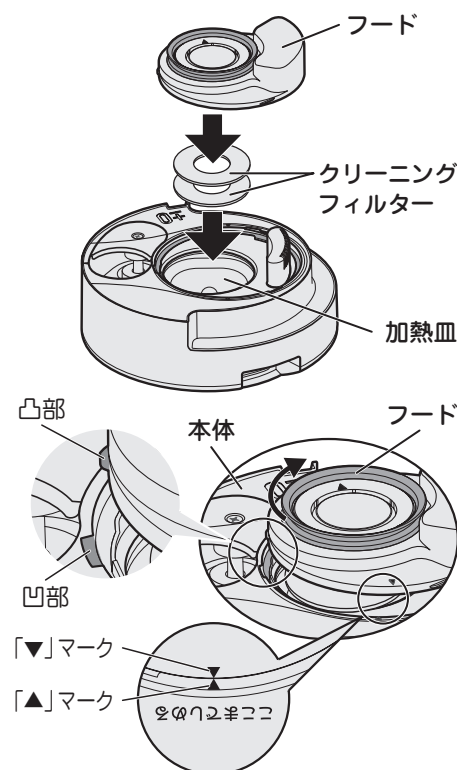
- ① 加熱皿にクリーニングフィルター (2枚)、フードの順にセットします。

※クリーニングフィルターは必ず、2枚セットで
ご使用ください。

- ② フードの凸部 (3カ所) と本体凹部 (3カ所) を合わせて
はめ込みます。

- ③ 時計方向に回し、セットします。

※本体の「▲」マークとフードの「▼」マークが合う
まで回してください。



5 タンクを本体にセットする。

- ① 本体を安定した水平な場所に置きます。

- ② 水を入れたタンクを裏返します。

※タンクのハンドルがたおれていること、キャップが
しまっていることを確認してください。

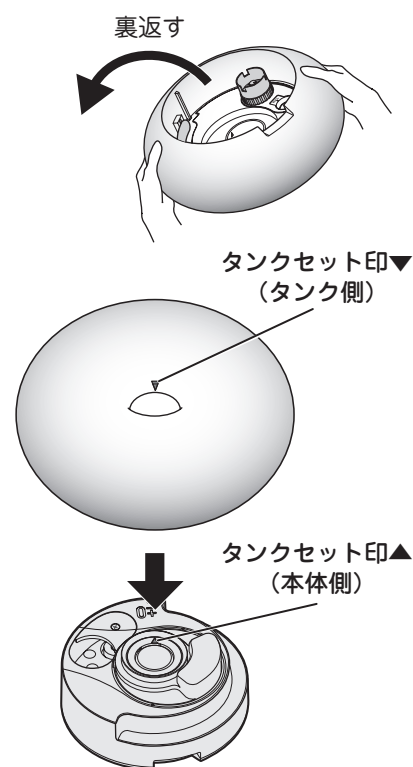
- ③ タンクと本体のタンクセット印が合うようにタンクを水平
にし、ゆっくりおろしてセットします。

※蒸気漏れを防ぐため、タンクをセットした後タンクを
軽く押さえて、タンクが正しくセットされたことを
確認してください。

※タンクをセットした後に移動させないでください。
水漏れ、故障の原因になります。

※タンクの着脱を繰り返したり、水の入ったタンクを
本体にセットした後に移動させたりすると、タンク
から本体に水が必要以上に流れて、水位センサーが
はたいたり、水があふれることがあります。
このような場合は、本体内の水を全て排水し、タンク
を再セットしてください。(P.15ページ参照)

※排水のしかたは、9ページ参照。



使いかた

次ページにつづく ➡

1 コードセットを接続する。

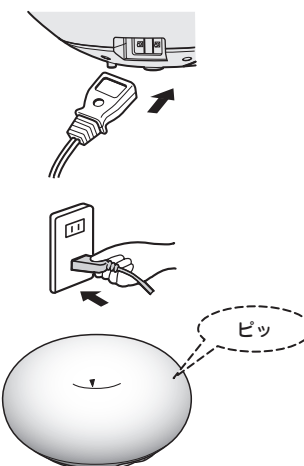
- ① マグネットプラグを本体に接続します。

※本体を傾けてマグネットプラグを接続しないでくだ
さい。送風口から水が入り込み、故障の原因になり
たり、本体に水が必要以上に流れて水量が増え、水位
センサーがはたいたり、熱湯があふれ出る原因に
なります。

- ② 電源プラグをコンセントに確実にさし込みます。

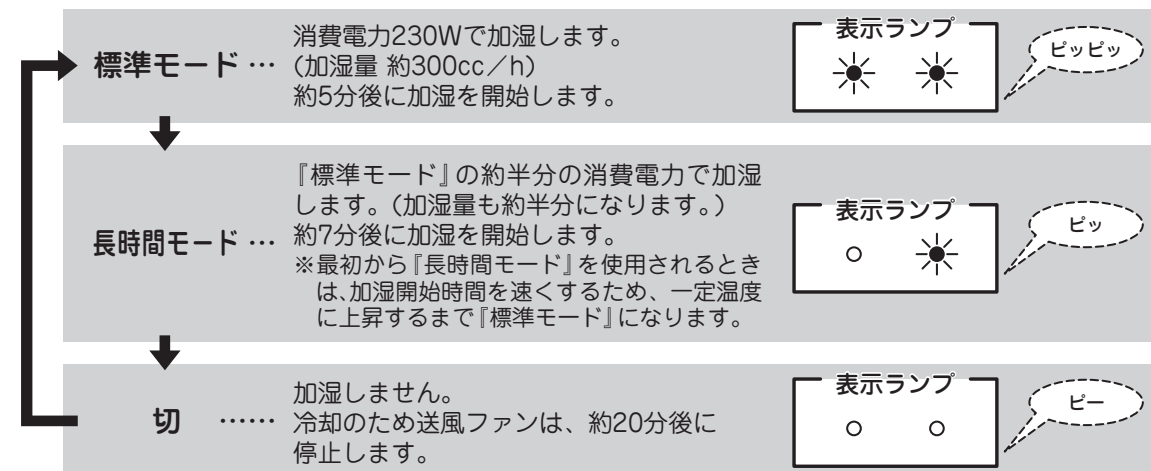
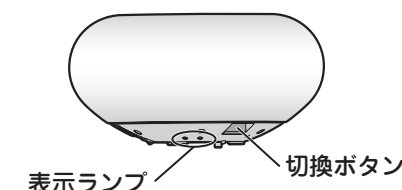
- 電源が入ったことをお知らせする操作音が、「ピッ」と
鳴ります。

※必ず本体にマグネットプラグを接続してから、電源
プラグをさし込んでください。



2 切換ボタンでお好みの運転にセット します。

- 押すたびに『標準モード』→『長時間モード』→『切』の
順で切り換わります。
- 切換ボタンを押すと操作音があり、表示ランプが点灯・消灯
します。



※加湿開始までの時間は、室温や水温により変わります。

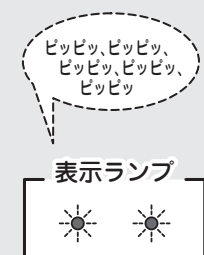
※本体内に水が入りすぎると

電源を入れ、切換ボタンを押すと左右の表示ランプが同時に点滅し、お知らせ音が
なります。タンクの着脱を繰り返したり、水の入ったタンクを本体にセットした後
に移動させたりして、タンクから本体に水が必要以上に流れでています。本体内の
水を全て排水し、タンクを再セットしてください。(排水のしかたは、9ページ参照。)

※タンクの水がなくなると

加湿運転中、左右の表示ランプが同時に点滅し、お知らせ音がなります。
タンクに水を入れ、セットしてください。

※いずれの場合も、ヒーターの加熱は停止しますが、送風ファンは約20分後に停止します。

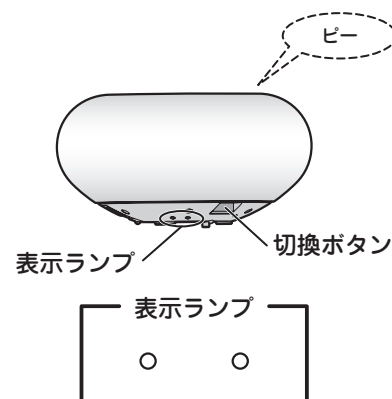


使いかた

3 切換ボタンを押して「切」にする

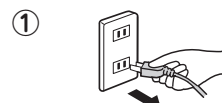
- 『標準モード』でご使用の場合は2回、『長時間モード』でご使用の場合は1回押すと、操作音が“ピー”と鳴り『切』の状態になります。

※表示ランプは、左右共に消灯します。

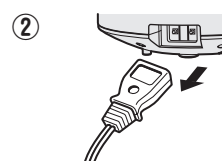


■ 長時間使用しないときは

- ① 電源プラグをコンセントから抜きます。

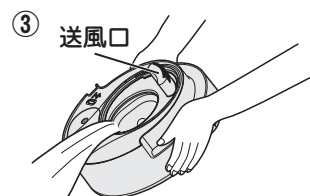


- ② マグネットプラグを本体からはずします。



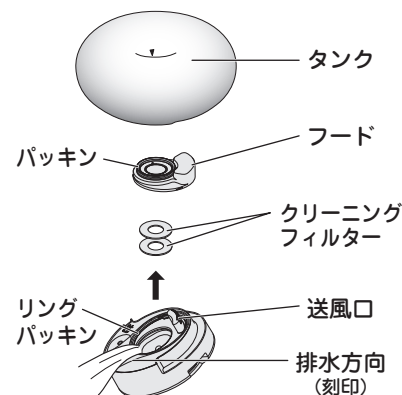
- ③ タンク・本体に残った水を排水します。

※必ずフードをはずし、本体に刻印されている「排水方向」に本体を傾けて、送風口に水が入らないようにゆっくりと排水してください。



排水のしかた

- タンクを外し、本体からフード・クリーニングフィルターを取り、本体に刻印されている「排水方向」に本体を傾けて、送風口に水が入らないようにゆっくりと排水します。
- ※フードを外さずに排水すると、送風口から本体内部に水が入り込んで、故障や不具合となる恐れがあります。
- ※排水するときは、電源プラグを抜いてしばらく放置し、本体内のお湯が十分冷めてから行ってください。
- ※パッキンがはずれたら、もと通りに取り付けてください。



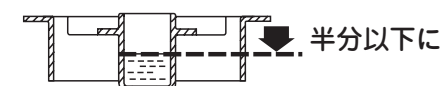
アロマポットの使いかた

※アロマオイルは市販品をお買い求めください。

1 アロマオイルをアロマポットに入れる。

- アロマオイルを入れるときは、必ずアロマポットをタンクから外して行ってください。
- ※アロマオイルが加熱皿に入ると、熱湯があふれる原因になります。
- アロマオイルはポットの半分以下でご使用ください。
- ※アロマポットに水滴が入るなどして、ポット内のアロマオイルの水位が半分以上になった場合には、すみやかにオイルを捨て、オイル水位が半分以下の状態を保ってご使用ください。

※スポイト等を使用してください。



2 アロマポットをタンク中央にセットする。

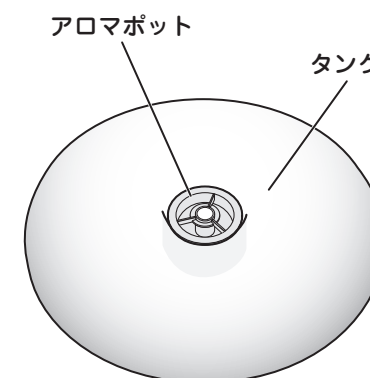
- アロマポットをセットする場合は、アロマオイルがこぼれないようにご注意ください。

※アロマポットのセット、取り外しは使用中や使用後しばらくはしないでください。やけどの原因になります。

※アロマオイルはアロマポット以外には入れないでください。熱湯があふれる原因になります。

※使用中にアロマオイルの追加をしないでください。やけどの原因になります。

※アロマオイルが加熱皿やフードに落ちたときは、使用を中止し水を捨て、よくふき取ってから使用してください。



お手入れのしかた

週に1~2回行ってください

*お手入れは定期的に行ってください

- ※汚れがひどくなると加湿量の低下や故障・悪臭の原因になります。
- ※ベンジンやシンナー、アルコール、アルカリ洗剤などは絶対に使用しないでください。本体や部品を傷めます。
- ※お手入れ後は、各部品をもと通りにセットしてください。

⚠ 警 告

 **お手入れは電源プラグ・マグネットプラグを抜いて十分さめてから行う**
感電ややけどの原因となります。

 **お手入れに下記の洗浄剤は使用しない**
塩素系・酸性タイプ・アルカリ性・ポット用洗浄剤(固形)
有毒ガスが発生し、健康を害したり、故障の原因になります。

●お手入れ後は十分乾燥させ、各部品は正しくセットしてから使用する。
感電・水漏れの原因になります。

◆ 本 体

- 柔らかい布でふきます。
- ※汚れがひどいときは、うすめた台所用中性洗剤(食器用)をしみ込ませた柔らかい布でふいてから、乾いた布でふき取ってください。
- ※リングパッキンが正しくセットされているか、確認してください。



◆ フード・パッキン

- 水で流し洗いをします。(パッキンがはずれたら、もと通りに取り付けてください。)
- ※パッキンが消耗すると、湯気がタンク内側に漏れ、結露・水滴が多量に発生しやすくなります。(冬場など、タンクと加熱皿の温度差により結露が発生する場合がありますが、これはパッキンの消耗ではありません。)

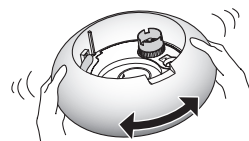


フードは消耗品ですので、水滴が多量に付きたした場合は、交換品を±0生活家電修理・技術センターにてお問い合わせください。

メーカー希望小売価格：1,050 円(税込)
(希望小売価格は2006年 8月現在のものです)

◆ タンク

- タンクに少量の水を入れ、キャップを締めてよく振って洗った後、排水します。(タンクを落とさないようにご注意ください。)
- ※汚れがひどいときは、2~3回くり返してください。



◆ クリーニングフィルター

- 水を流しながら柔らかくなるまでもみ洗いをします。
- ※水アカがたまるとクリーニングフィルターが固まり、加湿量の低下や水漏れの原因になります。



クリーニングフィルターは消耗品ですので、水アカがこびりついたり、破れた場合は交換品を±0生活家電修理・技術センターにてお問い合わせください。

品番：XQF-P010(10枚入り)
メーカー希望小売価格：1,050 円(税込)
(希望小売価格は2006年 8月現在のものです)

*捨てる時は、不燃ゴミとして捨ててください。

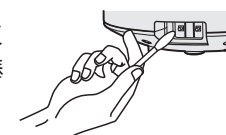
◆ アロマポット

- うすめた台所用中性洗剤(食器用)で洗い、水で流します。
- 水をよくふき取ってください。
- ※オイルが手についた場合は、せっけんでよく洗ってください。



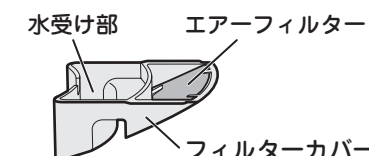
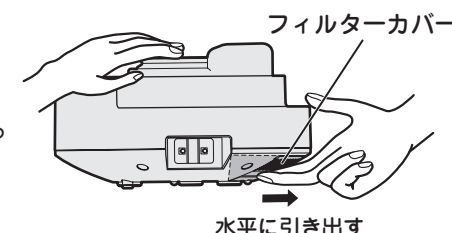
◆ マグネットプラグ受け・マグネットプラグ

- 電源プラグとマグネットプラグを抜きます。
- マグネットプラグ受け、マグネットプラグについたほこりを綿棒等でふき取ります。



◆ フィルターカバー (エアーフィルター)

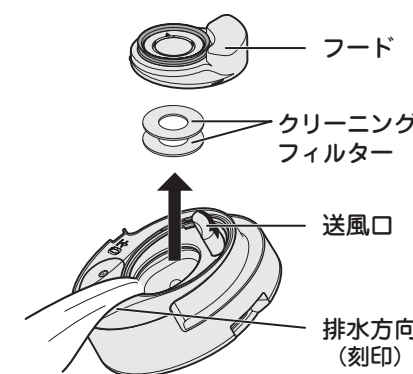
- 図のように水平に引き出してください。
- 水受け部に水がたまっているときは捨ててください。
- エアーフィルターをはずし、軽く手でたたいてほこりやごみを取り除いてください。汚れがひどい場合は、水洗いし日かげで干してください。
- フィルターカバーは、うすめた台所用中性洗剤(食器用)で洗い、水で流してください。



頻繁に水受け部に水が溜まる場合や、水が床に漏れている場合は、±0 生活家電修理・技術センターにご連絡ください。(P17ページ)

◆ 加熱皿

- 本体からフード・クリーニングフィルターを取り、本体に刻印されている「排水方向」に本体を傾けて、送風口に水が入らないようにゆっくりと排水します。
- ※フードを外さずに排水すると、送風口から本体内部に水が入り込んで、故障や不具合となる恐れがあります。
- ※排水するときは、電源プラグを抜いてしばらく放置し、本体内のお湯が十分冷めてから行ってください。
- ごみを取り除き、柔らかい布で水ぶきをしてください。
- ※お手入れをしない期間が長くなると、落ちにくくなりますので、こまめにお手入れしてください。
- ※水アカが落ちにくいときは、クエン酸洗浄を行ってください。(P13ページ)



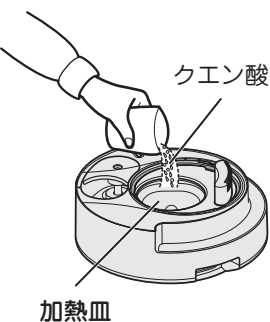
※加熱皿を金属タワシ等でこすらないでください。傷がつくと故障の原因になります。

***** 本体内部に水が入ってしまった場合は *****
ただちにご使用を中止し、±0 生活家電修理・技術センターへご相談ください。
(P17ページ)

クエン酸洗浄のしかた

加熱皿の水アカが落ちにくいときは以下の手順でクエン酸洗浄を行ってください。

- ① タンク・フードを取り外し、排水方向から残った水を排水します。
- ② 加熱皿にクエン酸約5gを入れ、フードを取付けタンクに水を水位線まで入れて、セットします。
 - ※ クエン酸が多いと、故障の原因になります。
 - ※ クエン酸は、必ず市販の顆粒タイプを使用してください。
 - ※ 固形タイプ(ポット用洗浄剤など)を使用すると必要以上に気泡が発生し、送風口に沸騰水が流入したり、蒸気吹出口から沸騰水がでることがあります。
 - ※ お買い求めのクエン酸洗浄剤の注意書をよく読み、正しくお使いください。
- ③ コードセットを接続し、切換ボタンを1回押し加湿「標準モード」で1時間加湿します。
- ④ 切換ボタンを2回押して「切」にし、1時間以上さましてからタンク・フードをはずし、排水方向から水を捨て柔らかい布で残った水アカをふき取ります。
- ⑤ 再度フード・タンクをセットし、加熱皿に水がたまってからタンク・フードを取り外し排水します。
このすすぎ洗いを2～3回繰り返します。
- ⑥ タンクの水を入れ替えます。
 - ※ タンク内にもクエン酸成分が残ることがありますので、臭いの原因になります。



- クエン酸の臭いが発生するため、換気しながら行ってください。
- クエン酸は、食品添加物で食品衛生上無害ですが、幼児の手の届かないところに保管してください。

お知らせ

水アカは、水道水に含まれているミネラル分(カルシウム、マグネシウム等)が析出したものです。水アカがたまるとクリーニングフィルターが固まり、加湿量の低下や水漏れ、不具合の原因になります。

保管するときは

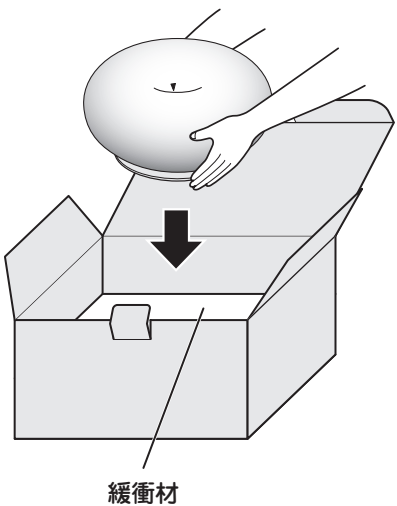
1 お手入れの後、水をふきとり十分に乾かす。

- タンク内の水は、キャップをはずし給水口を下に傾けて、左右に振りながら完全に排水します。
その後は、キャップをはずした状態で十分乾かしてください。
- ※ 水が完全に抜けなかった場合は、タンクの給水口から乾いた布をタンク内に落とさないように入れ、吸い取るようにすると完全に抜くことができます。

2 クリーニングフィルターとエアフィルターの水をよくきり十分乾かす。

3 お買上げ時の包装箱に入れて保管する。

- ※ コードはポリ袋に入れてください。
緩衝材(発砲スチロール)に触れると、コードがいたみます。
- ※ 高温になるところを避け、湿気の少ないところに保管してください。



仕 様

電 源	AC 100 V 50-60Hz	
消 費 電 力	230 W (標準モード時)、115W (長時間モード時)	
加 湿 時 間	約 8 時間 (標準モード時)、約 1 8 時間 (長時間モード時)	
加 湿 量	約 300 ml/h (標準モード時)、約 130 ml/h (長時間モード時)	
適 用 畳 数 (め や す)	木 造/和室 8 ㎡ (5畳) プレハブ/洋室 14 ㎡ (8畳)	※ 標準モード時
タ ン ク 容 量	約 2.4 L	
外 形 寸 法	約 305 × 305 × 155.5 (mm)	
質 量	約 2 Kg (タンク空時)	
コ ー ド	ゴムコード 2 m	
付 属 品	ロート、クリーニングフィルター(2枚)、アロマポット	

故障かな？と思ったら

◆ 修理を依頼される前に、もう一度お調べください ◆

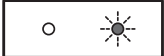
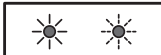
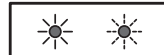
症 状	原 因	処 置
蒸気がでない	タンクの水がなくなっている。	タンクに水を入れてください。
蒸気がにおう	加熱皿やクリーニングフィルターが汚れている。	お手入れのしかたの通りに、汚れを取り除きます。(P 11、12ページ)
	古い水を使っている。	本体内とタンクの水を全て排水し、水を入れ直します。
本体から水が あふれる	タンクのキャップから水漏れしている。	タンクのキャップをきちんと締めてください。それでも水漏れするときは、±0生活家電修理・技術センター (P 17ページ) にご相談ください。
	タンクに水が入った本体を移動させたり、タンクを何度も上下させた。本体を傾けたまま運転した。または、本体に直接給水した。	本体内の水を全て排水し、タンクを再セットしてください。再セット後は、タンクを上下させたり本体を移動させないでください。
	芳香剤や40℃以上のお湯・不純物の多い水を入れた。	本体内とタンクの水を全て排水し、水を入れ直します。

◆ 次のような場合は故障ではありません ◆

症 状	原 因
タンクをセットしたときや使用中にポコポコと音がする	タンクから本体に水が流れるためです。
なかなか蒸気がでない	切換ボタンを押してから、加湿が始まるまでに時間がかかります。(P 8ページ) 室内の温度や湿度によっては、蒸気が見えにくい場合があります。
運転中に音がする	ファン(送風)の回転音や沸騰音で、故障ではありません。
タンクの水がなくなっても送風が続いている	ヒーターの加熱が停止しても、内部のファン(送風)は冷却のため約20分間は作動しています。故障ではありません。
水滴がつく 下に水がたれる	タンク内面などについて水蒸気が温度や湿度の変化などにより結露し、水滴が落ちる場合があります。タンクや本体について水滴はタンクをセットする前にふいてください。床面に落ちた水がそのまま乾くと、ぬれた場所が変色する場合があります。
電源を入れ、切換ボタンを押すと左右の表示ランプが点滅する	タンクから本体内に水が必要以上に流れているためです。本体内の水を全て排水し、タンクを再セットしてください。
加湿運転中に左右の表示ランプが点滅する	タンクの水がなくなったためです。タンクに水を入れて、セットしてください。

異常表示について

■ 誤った使いかたをすると運転を停止し、状況に応じて表示ランプが次のように点滅します。
また、お知らせ音が(ピーピーピーピー)と鳴ります。

異常表示 ランプ	 右側 2回の点滅	 右側 3回の点滅	 右側 4回の点滅	 左右交互点滅
原因	温度過昇防止器がはたらいています。		●送風ファンが止まっています。	●温度センサーの故障です。 ●ヒーターの故障です。
点検	●エアーフィルターが汚れ、つまっていませんか。 ●蒸気吹出口がふさがれていませんか。 ●底面がふさがれていませんか。 ●机の下など、狭い囲まれた場所で使用していませんか。 ●近くに他の暖房器具などありませんか。			
処置	①電源プラグを抜いて、本体をよくさましてください。 ②点検をして、温度過昇防止器がはたらいた原因を取り除いてください。			
処置しても 同じ場合	●水位センサー（フロート）の異常です。 ●水路がつまっています。  ●使用しないで ±0 生活家電修理・技術センターにご相談ください。（P 17ページ）			
温度過昇防止器がはたらいたまま、処置をしないで本体の温度が下がると次の表示になります。	 左点灯、右2回の点滅	 左点灯、右3回の点滅	●この場合も処置を行ってください。 ※処置をしないと再度異常ランプが点滅します。	

アフターサービスについて

保証書

- i 保証書は必ず「お買上げ日・取扱販売店名」等所定事項の記入及び記載内容をお確かめのうえ、お買上げ販売店からお受け取りいただき、大切に保管してください。
- i 保証期間は、お買上げ日から1年間です。ただし、フード・クリーニングフィルター・エアーフィルター・パッキン類は消耗品ですので、有料となります。

補修用性能部品の保有期間

当社は、この加湿器の補修用性能部品を製造打切後、5年保有しています。性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

※製品に異常のある場合に、お客様ご自身で修理されたり手を加えたりすることは大変危険です。絶対にしないでください。

修理を依頼されるときは

- i 保証期間中の修理
保証書の記載内容により、**±0**生活家電修理・技術センターが修理いたします。
くわしくは、保証書をご覧ください。
- i 保証期間が過ぎたあとの修理
修理により使用できる場合には、お客様のご要望により有料修理いたします。
くわしくは、下記の **±0** 生活家電修理・技術センターにご相談ください。

アフターサービスのお問い合わせ

修理に関するご相談ならびにご不明な点などは、下記の **±0** 生活家電修理・技術センターにお問い合わせください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、下記へご連絡ください。

±0 カスタマーサポートセンター



0570-01-5380

ナビダイヤル 受付時間：月～金曜日（除く祭日）10～17時

〒410-1302 静岡県駿東郡小山町中島44-3 FAX:0570-07-5380

メールでのお問い合わせ：<http://www.plusminuszero.jp/support/>

呼び出し音の前に、NTTより通話料金の目安をお知らせいたします。
（注）なお、上記番号はPHSではご利用いただけません。おそれいりますが、一般の電話か携帯電話をご利用ください。

メ モ